

議 事 録

会議の名称	第1回三田市行政評価委員会
開催の日時	令和5年8月2日（水）18時30分～20時30分
開催の場所	三田市役所本庁舎3階302会議室AB（オンライン併用）
出席した委員の氏名	赤澤委員長、馬場副委員長、本田委員、福田委員、森田委員、大坂委員、菊川委員、小林委員
欠席した委員の氏名	中村（匡）委員、中村（倫）委員
出席した庶務職員の職及び氏名	井上総合政策部長、太田政策調整室長、増田政策課副課長、井之上政策課事務職員、大槻政策課事務職員
その他出席者	無し
傍聴者の人数	無し
議 題	<p>(1) 会議の公開について</p> <p>(2) 行政評価のながれと委員会の役割について</p> <p>(3) 令和5年度行政評価（内部評価）の概要について</p> <p>(4) 評価</p> <p style="padding-left: 20px;">①ヒアリング対象施策について</p> <p style="padding-left: 20px;">②質問項目について</p>
会議の概要（結論）	<p>(1) 行政評価のながれと委員会の役割について確認した。</p> <p>(2) 令和5年度行政評価（内部評価）の概要について確認した。</p> <p>(3) 「6 学校教育の充実」「16 農業の振興」「17 観光・交流・文化の振興」を第2回に実施するヒアリング対象施策とした。</p>
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	<p>次第</p> <p>諮問書（写し）</p> <p>資料A 三田市行政評価条例</p> <p>資料B 三田市附属機関の設置に関する条例</p> <p>資料C 三田市行政評価委員会規則</p> <p>資料1 行政評価のながれと委員会の役割について</p> <p>資料2 令和5年度実施行政評価【内部評価】調書</p> <p>資料3 令和4年度 三田市市民意識調査結果報告書（一部抜粋）</p> <p>資料5 会議の公開について</p> <p>資料6 進捗事前評価の状況</p> <p>資料7 事前質問一覧</p> <p>資料8 パブリックコメント一覧</p> <p>第2回会議向け質問票</p>

	三田市行政評価委員会委員名簿 第1回三田市行政評価委員会座席表
連絡先	総合政策部 政策調整室 政策課 電話 (079) 559 - 5038 内線 (2211)

1 開会

- ・太田政策調整室長の司会により開会、配布資料の確認等

2 委員紹介

- ・太田政策調整室長より、名簿順に各委員の紹介

3 委員長、副委員長の選出

- ・事務局より、委員長に赤澤委員、副委員長に馬場委員を提案（委員一同、了承）

4 議事

(1) 会議の公開について

＜事務局から資料5に基づき説明＞

＜委員長より、会議録の記名方法について、「委員長」「副委員長」「委員」と表記することでよいか確認。（異議なし）＞

(2) 行政評価のながれと委員会の役割について

＜事務局から資料1に基づき説明＞

(3) 令和5年度行政評価（内部評価）の概要について

＜事務局から資料2に基づき説明＞

(4) 外部評価の実施について

＜事前評価の状況、事前質問、外部評価の進め方について、事務局から資料6, 7に基づき説明＞

①事前評価の状況、事前質問についての審議

委員長：時間の関係上全てを審議することは出来ないため、事前評価でC(今後に期待)がついており、意見が多いであろう「3 健康づくり」「16 農業の振興」「17 観光・交流・文化の振興」について意見交換を行います。続いて意見が分かれている「6 学校教育の充実」「9 地域医療の安心」「18 まちの再生」「21 水の保全」「25 行政経営」について審議を行います。まず「16 農業の振興」について意見はありますか。

委員：三田市の農業は活発に行われていると感じます。三田牛の出荷頭数等の数値だけを見ると目標達成が難しいと感じますが、実際、種牛や子牛、飼料代の高騰等の背景的な部分が書かれていれば評価がしやすくなると思います。また数値だけを見ると新規就農者数も増加していませんが、兵庫県全体を見ても増加していない背景などの補足説明があった方が良いと思います。第5次総合計画では、「農福連携」が将来像で記載されていますが、成果指標に入っていないため、推進を考えているなら、取り組みの事業者数等を指標に入れても良いのではと思います。

委員長：三田市は北に行くと田園地域、南に行くと都市部が広がり、近郊農業にとって非常に理想的

な状態であると感じます。都市部と田園地域が近接している所は三田市の強みであり、これからまちの再生等、他の施策との連携が図れるのではないかと思います。

委員長：三田市の農業は半農半Xや週末農業と言った新たな形へと変化してきていると思います。また生産量等の数的要素だけではなく、無農薬の様な質的要素が増えてきています。多様化している三田市の農業独特の良さを新たな指標の参考にしても良いのではないのでしょうか。

委員長：スマート農業や小規模農業への支援等、転換している農業の流れを説明してほしいです。

委員：三田市に50年近く住んでいますが、田んぼや山が削られ、都市化が進んでいるイメージがあります。農業の推進に対して、周辺は都市化しており三田市が現在どんなまちを目指しているのかももう少し分かれば評価がつけやすいと思いました。

委員長：以上の意見をまとめて、所管に伝えてください。続きまして「17 観光・交流・文化の振興」につきまして、意見はありますか。

委員：成果指標に「文化財施設のプログラム参加者数」とありますが、三田市は魅力的な文化財施設や社会教育施設が沢山あります。そこでプログラムの参加者数を増やそうと思うと学芸員や常勤スタッフが必要不可欠です。人材配置の状況により、到達度や評価が変わると思いますので、各施設の人材の配置状況等を示してほしいです。

委員：アウトドア交流都市に向け、三田市の立地やアクセスの良さ等の利点を活かして、積極的な企業誘致や三田市内の企業とのタイアップ等を個別に検討してもらえるのか知りたいです。

委員：広野に住んでおりよく千丈寺湖付近を車で走りますが、サイクリングをしている方が多く非常に危険です。イベントを行うと地域の活性化に繋がりますが、それに伴い周辺の交通状況などの安全対策について不安を感じているので説明してほしいです。また千丈寺湖にできたアウトドアショップや三田市のイベント等「知らなかった」という意見をよく耳にするので、告知の方法を工夫することで、もっと目標値の達成に近づくとと思います。

副委員長：令和2年から令和4年は、コロナ禍で蔓延防止対策の一環として、イベント数の減少、施設の営業時間の短縮、参加者数の制限等を行ってきたと思います。そういったやむを得ない事情を記載することで、評価を行う際に考慮できるのではないかと思います。

委員：去年まち博に出展しましたが、発信が不十分だったこともあり、定員割れの様な状況でした。三田市の広報の方法や、今後の進め方、目標などを教えてほしいです。

委員：職員は業務多忙の中、SNSの更新を行っており負担になっていると感じます。情報発信に市民が関わることができる仕組み等があれば、特定の職員の負担にならないと思います。

委員長：以上の意見をまとめて、所管に伝えてください。続きまして「3 健康づくり」につきまして、意見はありますか。

委員：特定健診や後期高齢者の受診率は、交通インフラ等にも関連があると思います。交通インフラとの因果関係を知ることができれば、数値の評価だけではなく、他の政策とも関連させて議論ができると思います。

委員：三田市の高齢者は元気な方が多いと思います。数値だけを見ると悪く見えるかもしれませんが、健康寿命の項目では目標値を達成しており、高齢者が元気なまちではないかと思います。

委員：民生委員を21年程やっており、高齢者と関わることが非常に多いのですが、皆さんお元気で、何故C(今後に期待)がついているのか疑問です。また、国民健康保険の委員も行ってきましたが、農業や商売を行っている方は、業務等が忙しく、受診率が低いということが当時か

ら問題になっています。

委員：他の委員の話から、高齢者の方は熱心に動かれているが、働いている人たちが健診に行けていない状況が分かりました。どの年齢層の方が受診できていないかの情報がほしいです。

委員長：以上の意見をまとめて、所管に伝えてください。続きまして、「6 学校教育の充実」について意見はありますか。

委員：教育現場に 8 年程おり、現場の教職員の多忙さや、業務増加の背景はよく分かります。ICT 機器の活用等、家庭の教育とリンクする部分があり、進めにくいと思います。また自己有用感、自己肯定感、自尊感情といった部分の数値を上げていくことも難しいと思いますので、目標値を下げて実現可能な数値にしても良いのではないかと感じました。

委員：学校のボランティアに入り 10 年以上経ちます。音楽や家庭科、木工や昔遊び等、先生が苦手な分野をお手伝いしています。先生たちや子どもたちに喜んでもらっています。

委員：成果指標に「自分にはよいところがあると思うと答える子どもの割合」という子どもの主観的な部分に左右される項目があります。学校だけで育まれるものではないと思いますので、評価的には「5 地域ぐるみの子育て」などの地域体制のバックアップと関連すると思います。「5 地域ぐるみの子育て」の評価は高いのに、「6 学校教育の充実」の評価が割れているためイメージと合いません。

委員長：以上の意見をまとめて、所管に伝えてください。続きまして、「18 まちの再生」について意見はありますか。

委員：「相野地区や広野地区において、まちづくり計画に対する支援を行った」と記載されていますが、具体的にどういった支援をされたのか教えてほしいです。

委員長：区域面積などハード面の整備のことが主に書かれていますが、ハード面の整備を行えば、まちが再生できるのか疑問に思いますので、どのように考えているのか説明してほしいです。

委員：市街地再開発事業の区域面積がどういう意味か知りたいです。また令和 2 年度の基準値が 3.1ha で、令和 4 年度も全く進捗がないのは何故か教えてほしいです。

委員：PTA 役員の時、道路の白線が消えて危ないと警察に伝えましたが着工までに時間がかかりました。行政と市民の感覚のギャップが大きいと感じています。C ブロックやニュータウンの再生は本当に市民が望んでいるのでしょうか。もっと身近なまちの困りごとの再生（改善）を行うことで目標にも近づき、住みやすいまちになるのではないのでしょうか。

委員：カルチャータウンに移住者が増えたという噂を聞いたことがあります。その理由が知りたいです。またフラワータウンの再生を行っていますが、数あるニュータウンの中でフラワータウンにこだわる理由を知りたいです。また三田市がどのように人を呼び込もうとしているのかわかりませんが、三田駅前商店街など、気に入っている方もいるので、いいところまで再開発で取り壊すのはもったいないと思います。

委員長：以上の意見をまとめて、所管に伝えてください。続きまして、「23 持続可能な環境づくり」について意見はありますか。

委員：新ごみ処理施設について教えてほしいです。

副委員長：評価が分かれている理由の一つに、成果指標の基準値の記載が無いことが考えられるのではないのでしょうか。数値の解釈の仕方を説明してもらえると評価しやすいと思います。

委員長：時間の関係もありますので、意見が割れている「9 地域医療の安心」「21 水の保全」「25 行

政経営」について、意見はありますか。

委員：噂ばかりが聞こえてきますので、実際市民病院がどうなるのか教えてほしいです。

委員：三田市から医者がいなくなると言われ不安を感じています。今後の動きを教えてください。

事務局：現在の状況を説明。

委員：「25 行政経営」の 1 つ目の指標「チャレンジする意欲があると評価される職員の割合」が 39.1%となっており、この書き方だと約 6 割の職員がチャレンジする意欲がない捉え方になってしまうのではないのでしょうか。また他の指標と比べて曖昧な指標だと感じます。

委員長：組織としてチャレンジできないということもあるのではないのでしょうか。職員提案審査会の委員も行っていました。毎年意欲的に面白い提案をする人もいるのに、この数字になるのがなぜか聞きたいです。

委員：三田市の取り組みは先進的で評価できますが、現状の報告だけだと進捗しているのかどうか判断が難しいところがあります。指標や基準に全国や県内と比べられる数値が少しでも示してありますと、全体の評価が変わるのではないかと思います。

②ヒアリング対象施策の選定

＜委員長より次回ヒアリング対象施策について、事前評価と評価への各委員の意見をもとに、「6 学校教育の充実」「16 農業の振興」「17 観光・交流・文化の振興」でよいか確認。（異議なし）＞
＜ヒアリング対象施策以外については、回答書面をもとに評価を判断する。（異議なし）＞

・次回は 8 月 28 日（月）18 時 30 分から開催する。